



2019年度 地域との協働による高等学校教育改革推進事業 (グローバル型) 構想概要

目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践
～ユネスコ世界ジオパークとともに～



高知県立室戸高等学校

総合学科

生徒数93名



総合学科系列

生活・福祉

商工業・芸術

文理総合



目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践 ～ユネスコ世界ジオパークとともに～



×室戸市の少子高齢化・雇用の減少⇒人材育成が喫緊の課題

○地域が室戸ユネスコ世界ジオパークに認定⇒国際的ネットワークを活用可

地域課題を市民と高校生が考えるなどの取組は十分とはいえなかった



地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）

室戸ユネスコ世界ジオパークのネットワークを生かした

国内交流推進

国際交流推進

課題解決型学習

地域貢献活動推進

ESD視点でカリキュラム・マネジメント・地域と協働した教育を推進



世界的な視野を持って地域で活躍できる人材育成

地域が元気になる

目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践 ～ユネスコ世界ジオパークとともに～



取組

2019年度

- 室戸ユネスコ世界ジオパーク再認定
- マレーシア視察による海外交流
- 国内ジオパーク関係校との交流

2020年度

- マレーシアの高校生への招へいと交流
- 国内ジオパーク関係校との交流

2021年度

- 国内外の世界ジオパーク生徒国際交流会の開催

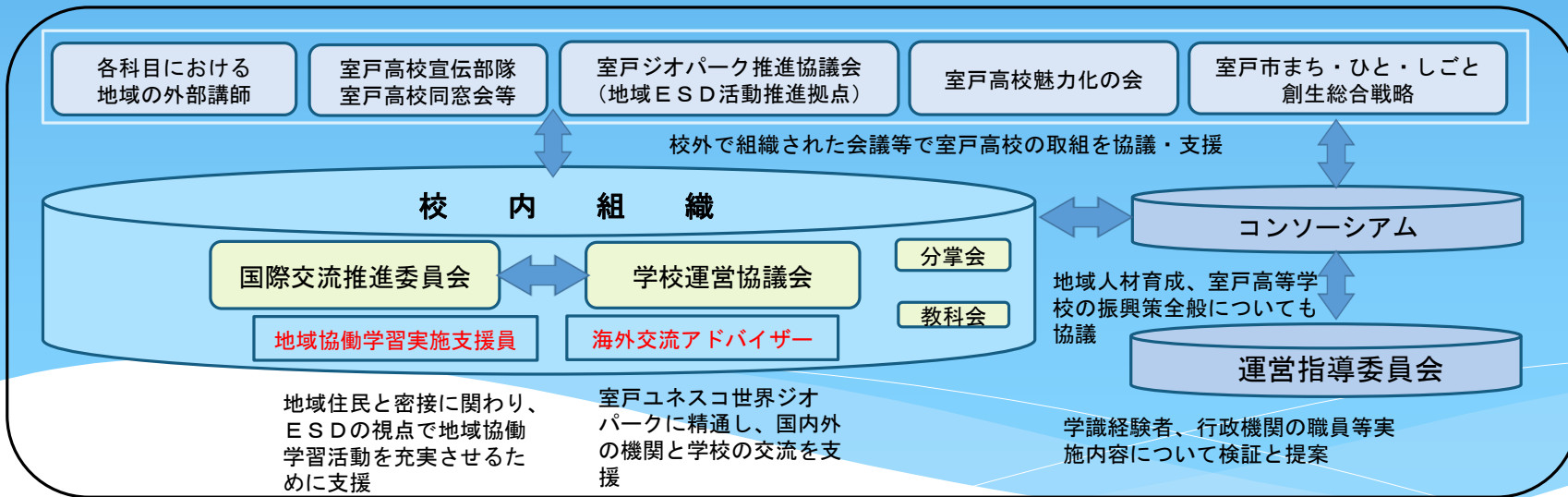
○ESD「持続可能な開発のための教育」の視点で地域貢献につながる活動を体系化 ○体験→気付き→探究→発表という学習プロセスの徹底

室戸高校 ユネスコ世界ジオパークの拠点校

期待される成果

室戸高校生の活動の活性化によって地域が元気になる。将来地域社会を支えるグローバル人材を育成できる。

組織



「ESD」の考え方

Education for Sustainable Development
(持続可能な開発のための教育)

ジオパーク活用事例

ジオパークに生息する特色ある生物を売る

⇒販売による経済的利益が得られるが、いつかその生物は消滅

ジオパークに生息する特色ある生物を観光資源としてとらえる
ツーリズムを提案し、実行する

⇒観光による利益が継続するとともに、生物も保全

特色ある科目の設置

地域貢献・地域活性化



知る

気付く

探究する

表現する

1年 産業社会と人間(室戸学)

ライフプラン発表会

2年 続・産業社会と人間(職場体験)

職場体験発表会

2年 ジオパーク学(選択)

研究成果発表

3年 課題研究

課題研究発表会

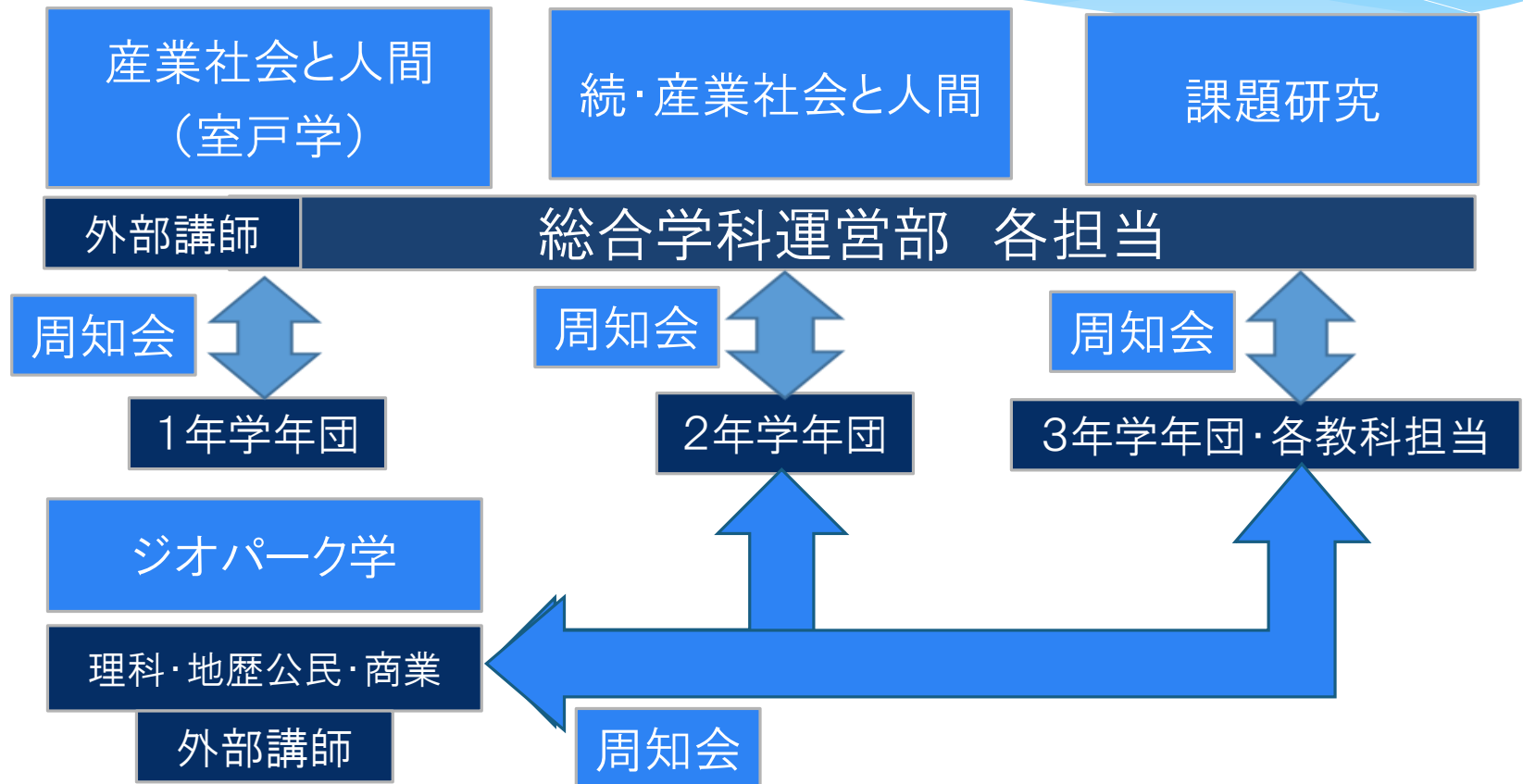
総合学科発表会

1～3年 ボランティア活動

1～3年 ロングホーム・特別活動 国際交流

1～3年 英語科をはじめとする各教科 地元の素材を生かした教材

各教科間の連携



各教科における「グローバル」についての意識

カリキュラム・マネジメントを充実させること

教科	グローバルを意識した分野	1学期	2学期	3学期
国語	●☆小論文等		○	○
地歴・公民	●★□教材全般	○	○	○
数学	★□グラフ・統計分析			○
理科	□地震災害 ★生物保護	○	○	
英語	☆●ディベート □☆海外交流	○	○	○
家庭・芸術	★日本伝統文化		○	○
工業	□国際規格とものづくり	○		
商業	★□ビジネス実務		○	

●課題設定 ★知識・理解 □分析 ☆表現

海外交流



2019

室戸ユネスコ世界ジオパーク
再認定のための活動

2020

オーストラリア高校生受入・短期留学

2021

新規

海外交流アドバイザー・地域協働学習実施支援員による事業支援

マレーシア訪問
交流開始

マレーシア高校生受入・訪問

その他、国際交流協会等と連携し、海外交流の場を積極的に生徒に提供

取組の課題

生徒数の減少

地域貢献の質的向上

進学・就職のため、卒業后市外に出る生徒が多い

地域とのつながりを継続する仕掛け

生徒のグローバル意識向上・生徒・教員・地域の方々の負担感

カリキュラムマネジメント

管理機関としての取組・管理方法

高知県教育委員会

県立高等学校再編振興計画のポイントは「地域人材育成」

地域振興の核としての高等学校の機能強化

狭い範囲にこだわらず、幅広い論議になるための組織づくりと支援

コンソーシアム

地域課題の解決等に向けた取組と海外交流による効果的な人材育成に向けた取組の検討

運営指導委員会

取組状況を共有するとともに企画運営に対して助言
専門的見地から事業の運営を支援